



ユーベニア

ダイレクトコンポジットベニアテンプレートシステム



- 自然かつハイクオリティなコンポジット修復が可能
- 酸化未重合層を防ぐことができ、ツヤのある表面に仕上がります
- テンプレートは透明のため、テンプレート越しに光照射が可能
- お好みの CR を使用可能
- 硬化後はテンプレートを簡単に取り外し可能
- 最低限の形 修正研磨で済むため、時間短縮になります
- 1 歯の修復から多数歯の修復まで対応可能
- オートクレープ可能なため繰り返しご使用頂けます

ユーベニアは、オーストラリアの女性歯科医師 Dr. Sigal Jacobson により開発されたダイレクトコンポジットベニアのためのテンプレートシステムです。前歯部において審美性が高くケアタイムを抑え、コストパフォーマンスも考慮したコンポジット修復を行えないか…と臨床で悩んだ結果、テンプレートシステムを考案しました。

様々な患者の QOL (Quality of life) に対応するには、材料と治療方法の選択が重要となります。その中でユーベニアは生まれました。ユーベニアは審美歯科治療での重要なモックアップや補綴物（ポーセレンベニアなど）のテンポラリー、シェード選択時に簡易的に充填する場合など多様な用途にご使用いただけます。



出典：脇宗弘先生

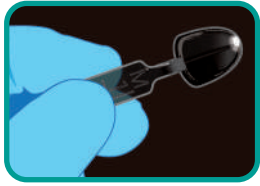
ユーベニアキット

UVKV2



販売名：ユーベニア／一般的名称：歯科用充填剤／
一般医療機器／医療機器届出番号：13B1X10086000066

Technique Guide テクニックガイド



1. 適したコンポジットレジンシェードを選択します。そして、ユーベニアテンプレートのサイズ及び歯式を確認し、適用する歯に最適なサイズ(歯面全体を覆うサイズ)を選択します。



2. 使用前にう蝕が見られる場合は、う蝕の処置を行います。



3. 歯科用マトリックスを隣接歯面に装着し、ウルトラエッチJもしくはご使用のエッチング材を用いて歯面のエッチング処置を行います。



4. エッチング材メーカーの指示に従いエッチング材を洗浄します(ウルトラエッチJの場合20秒放置後水洗)。



5. 水洗後、ボンディング材を塗布(ピークLCボンドもしくは他社ボンディング材を使用)します。ボンディング材塗布に関しては各メーカーが推奨するステップに従ってください。



6. ご使用の光照射器の使用方法に従い、光照射を行います。VALOを用いた場合、スタンダードパワー(10秒)で照射します。



7. ステップ1で選択したベーストタイプのコンポジットレジンに歯面に塗布します。



8. 光照射をせず、ユーベニアテンプレートを置く前に少し形態を整えます。



9. 塗布したコンポジットレジンに本品の凹面を押し当てて、親指でしっかり中に残った空気を押し出します。ユーベニアテンプレートが歯全体をカバーしているか再度確認します。コンポジットレジンの量が足りない場合はここで調整します。



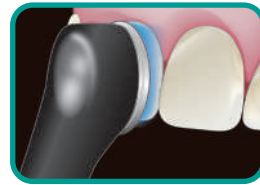
10. ユーベニアテンプレートの歯軸線を参考にして位置、傾きを調整します。



11. マージンラインや隣接面から余剰のコンポジットレジン除去します。



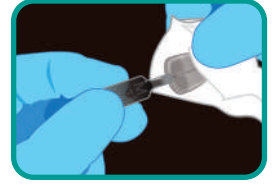
12. テンプレートの上から光照射します。VALOを使用する場合は、各2mmレイヤーにつき、スタンダードパワー(10秒照射×1~2回)、ハイパワー(4秒照射×1~2回)、エキストラパワーモード(3秒照射×1~2回)を推奨します。他社光照射器を使用する際は、各メーカーの推奨をご参照ください。



13. テンプレートハンドル部を持ち、テンプレートを外した後、必要に応じて最終照射を行います。

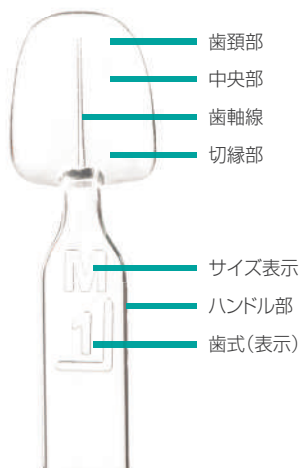


14. 光沢面に触れないように注意しながら周辺部の余剰コンポジットレジンファイバーを用いて取り除きます。隣接面など調整が必要な場合は研磨用ストリップスを用いて整えます。歯面の光沢が足りない場合は、Jiffy研磨システムを用いて最終研磨を行います。



15. 使用后、テンプレートは速やかにアルコール綿で付着したコンポジットレジンなどを完全に拭き取ります。乾燥後、滅菌袋に入れて高圧蒸気滅菌にて滅菌処理します。使用方法に関しては、添付文書を熟読してください。

テンポラリーベニア：ダイレクトコンポジットベニアと同じステップですが、エッチングは部分的にスポットで行います。また、ご使用のテンポラリーセメントなどを併用してください。
モックアップ：ダイレクトコンポジットベニアのステップ中の形成、エッチング、ボンディングを除き行います。



出典:石部元朗先生